

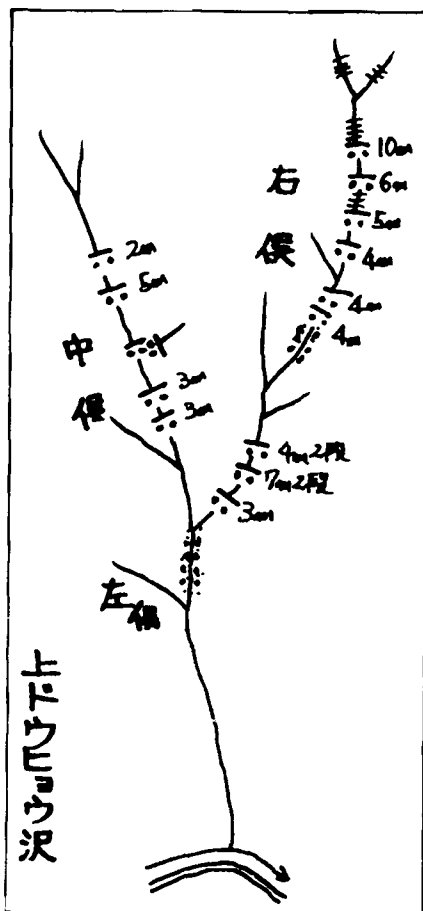
クワ沢右俣 1992年7月25日

標高1389mのピーク西側の鞍部からクワ沢右俣めざして下降する。水のない窪地を下って行くと、水流のある沢に出て2.5mの滝を下る。このあと8mの滝を下ると右岸から小沢が合流する。このあとナメ状の滝を下り左岸からの支流をあわせると、大石がある。この後まもなく二俣（中俣出合）。水量は、降りてきた右俣の方が多い。

中俣出合からは平凡。林道にかかる橋まで下って下降終了とする。

(記・)

[タイム] 下降開始(11:55)→下降終了(13:20)



上ドウヒョウ沢中俣

1992年7月25日

L!

8時45分沢に入る。しばらく何もなく、左俣出合からは時々伏流となった。右俣出合を過ぎると、やがて3mの滝が2つ現われる。2m滝の上で支沢が合流し、今度は5mと2mの滝。すべて直登して越える。

やがて水がなくなる。最後の二俣を右に入ると、約20分で稜線に出る。(記・)

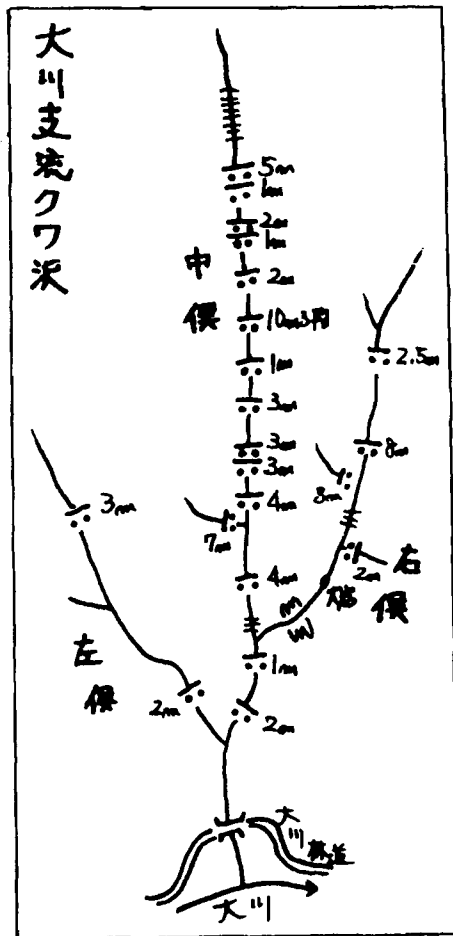
[タイム] 遡行開始(8:45)→右俣出合(9:50)  
→遡行終了(10:45)

上ドウヒョウ沢右俣

1992年6月13日

L!

下ドウヒョウ沢の遡行を終え尾根上で小休



ても、水流は現れない。草付の中を尾根から45分下って、ようやく水流が現れた。水流にそって下り始めたところで、3mの小滝。左岸を下る。このあともう1つ2mの小滝が現れただけで、左俣は終了となってしまった。(記・)

[タイム] 左俣下降開始(11:15)→下降終了(12:30)

クワ沢中俣 1992年7月26日

8時15分遡行開始。初めから沢は小さかったが、水量は豊富である。小滝2つを越えて、20分程の遡行で右俣出合。目的の中俣は小さなナメとなっている。現在地がいまひとつはっきりしなかったため、右俣に少し入って確認した後、中俣に入る。

小さなナメを越えると滝が出てきた。4m。右岸を登る。滑りやすく苦勞した。このあと少しずつ間隔を置きながら10m3段の滝のほかいくつもの小滝が出てくるようになる。なかにはホールドが少なかったり滑りやすいものもあるが、すべての滝が直登可能である。小さい沢だが、なかなか面白い。

源頭はナメから急峻なルンゼとなり、最後は灌木帯に突っ込んで、終了となる。遡行終了10時20分。このあと急峻な小尾根のヤブこぎ30分で稜線へ。

最後のヤブこぎの最中、小沢をへだてた向いの尾根に、ニホンザルの群れを見つけた。5頭が確認できたが、樹林帯の中にまだ何頭かひそんでいたようである。登りついた尾根上には、随所に赤布がつけられていた。はっきりした踏跡はないが、結構歩かれているようである。(記・)

[タイム] 遡行開始(8:15)→右俣出合(8:35, 9:10)→中俣終了(10:20)→尾根(10:50)